令和２年度学校だより　学校教育目標「せいいっぱい　きたえ　のびよう　東っ子」

東白川小だより

令和２年８月３１日（月）NO.6

夏休みにしかできないこと

東白川小学校長　　伊佐治　晃

「16 日といつもより短いけれど『何となく終わってしまう夏休み』と『何かに取り組む夏休み』のどちらにしますか。」1 学期の終業式にそんな話をしました。夏休み中の様子や 2 学期が始まってからの子供たちの姿を見ると、たとえ短くても、その中で「何かに取り組むことができた夏休み」を過ごすことができたのだなと感じました。ご家庭でのご協力、ありがとうございます。

◇カヌー教室

8 月 2 日、教育委員会主催のカヌー教室がありました。河原には、低学年中心に、13 名が集まりました。ヘルメットを付け、オールを手に説明を聞き、オールの動かし方を練習したら、カヌーに乗り込み、さっそく一人で川へ入っていきました。水面を自分の力で進んでいく気持ちよさはやってみないと分からないでしょうね。素敵な体験です。

◇親子でクッキング

なかよし広場に、「親子クッキング」のレポートを展示しました。汗をかきながら料理する様子が伝わる写真もあります。それぞれのレポートから親子いっしょに楽しく調理に取り組んだ様子が思い浮かびます。

◇夏休みの作品

17 日、バスから大きな紙袋を持って降りてくる子に「それは何？」と聞いてみると、「夏の宝物。」と教えてくれました。今年度は、夏休みが短くなった関係で、自由課題とした作品作りでしたが、夏休みを生かして取り組んだ作品がたくさん集まりました。

1 年　安江陽菜美さん
「ひきだしとアクセサリー」

1 年　安江怜香さん
「むしかごのだい」

1 年　牧野晃臣さん
2 年　牧野未知さん
「あしつぼ」

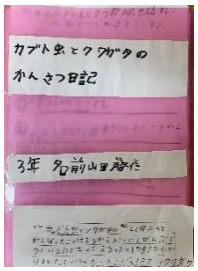
2 年　今井潤哉さん
「むかしのきょうりゅう」

2 年　安江愛來さん
「つるつるぴっかん
どろだんご」

2 年　苅田芽楽さん
「ジェル石けん」

2 年　安江月愛さん
「キャンディー
ボックス」

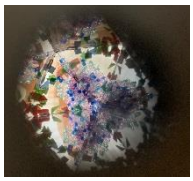
2 年安江美心都さん
「魚とりペットボトル」



3 年　山田啓仁さん
「カブト虫とクワガタ
のかんさつ日記」

3 年　安江瑠衣さん
「タイルのなべしき」「ランプシェード」

3年　安江咲結さん
「アイロンビーズでガーランド」



3年　飯野一颯さん
「水族館の万華鏡」

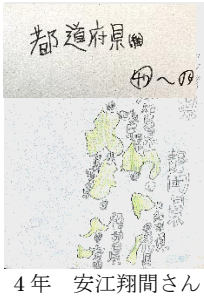
3年　安江純一さん
「モササウルス」

4年　長谷川葵ノさん
「バイキング・船」

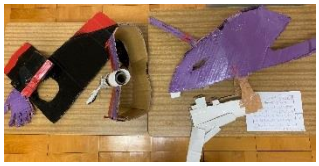
4年　戸田一華さん
「アイロンビーズで
キャラクター」

4年　樋口希生さん
「フィッシャーズのマーク」

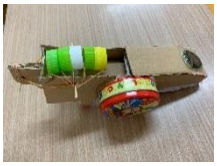
4年　今井遥哉さん
「どんな味かな
ブレンドティー」



4年　安江翔間さん
「都道府県の絵」



4年　村雲双亮さん
「エヴァンゲリヲンの覚醒ぼう具」



5年　竹本千朗さん
「キャップでっぽう」

5年　今井渉夢さん
「習字　税と生活」

5年　安江玲美さん
「自分の住みたい
ミニチュアハウス」

読書感想文

1年　今井蒼馬さん「ぎりぎりかめん」

2年　安江愛來さん「おしりたんてい」

3年　安江純一さん「北きょくと南きょくの『へえくらべてわかる地球のこと』」

3年　今井美兎さん「いちにちおもちゃ」

4年　若井　凪さん「みえるとかみえないとか」

4年　村雲美月さん「12さいの少女が教えてくれたこと」

5年　安江來夢さん「月と珊瑚」

どの作品も時間をかけ、一生懸命取り組んだことが伝わるものばかりです。工作の作品には、作り方など説明がついているものもありました。習字は一枚だけではなく、何枚も何枚も練習した結果の一枚です。自由に使える時間を有意義に使うというのは「自由」であるがゆえになかなか難しいことです。時間を何に、どう使うかというのは大切な力ですね。

表彰

◇第16回CBCこども絵画展「私の先生を描こう」

4月、新しい担任の先生との出会い。画用紙いっぱいに描いた作品をCBCこども絵画展に応募しました。その結果が届きましたので、紹介します。

☆入選彡

2年　安江玲織奈さん

2年　安江愛來さん

3年　尾崎愛奈さん

１学期を振り返って　～令和２年度　職員による自己評価アンケート結果より～

本校では学校経営を振り返り、成果と課題を明らかにしてさらに良い学校づくりにつなげていくため、定期的に評価を行っています。１学期末には学校職員自身がどのように感じているのかを自己評価をし、その結果がまとまりましたのでお知らせいたします。

尚、２学期末には同様の項目で保護者の皆様からも評価をしていただき、次年度に活かしていくことを計画しております。今回の評価結果をご覧になり、２学期の子どもたちの様子や学校経営のあり方などを踏まえ、保護者の皆様のご意見をお聞きしますので、その際には率直なご意見をお聞かせください。

＜数字【平均評価値】は、５点を最高点とした評価得点の平均値です。＞

	評価の観点（Ⅰ．学校教育目標、学校経営に関して）	平均
1	教育目標具現に向けて意識的に取り組んでいる	4.0
2	学校教育目標具現に向けて、管理職はリーダーシップを発揮し、学校経営にあたっている。	4.3
3	児童に寄り添い、全校一人一人の児童と関わる等、教職員が協力し合い、一丸となって子どもたちを育てようとしている。	4.1

☆　学校教育目標の重点である「出し切る」や「笑顔いっぱい」は子どもたちにも定着している。めざす方向を明確にし、職員が一丸となって教育活動に取り組んでいることがうかがえる。今後も、めざすべき姿を共通認識して取り組んでいきたいと考える。

	評価の観点（Ⅱ．確かな学力）	平均
4	少人数であることのメリットを活かした「出し切る」授業を実践するために、授業の工夫・改善を図り（教材研究）、日々の授業に臨んでいる。	3.8
5①	授業の「出し切る」を、課題提示後に端的な言葉で、子どもに提示することにより、「進んで出し切り、自分に自信をもつ子ども」の育成に努めている。	3.6
5②	「話す・聞く」の表現の場や児童一人一人が活躍する場を設定した授業を展開することにより、子どもたちに基礎的、基本的な確かな学力を身に付けさせている。	3.8
5③	授業の「出し切る」を位置づけ、３つの見届けを意識して指導をしている。	3.8
5④	ＩＣＴを有効活用して、子どもたちに興味関心をもたせ、より理解を深める指導に努めている。	3.8
6	朝読書や日頃の読書活動を通して、本の楽しさを味わわせている。	3.8
7	進んで家庭学習に取り組む習慣を身につけさせている。	3.8

☆　教職員は、少人数であることのメリットを活かせるような授業を仕組み、児童一人一人に確かな力が身に付くように日々努力している。さらに自信をもたせるためには、「出し切る」「見つめる」授業を実践するための改善や工夫を図っていきたいと考える。

	評価の観点（Ⅲ．豊かな心）	平均
8	児童がお互いの良さを認め合える温かい学級集団づくりに心がけている。	4.3
9	あいさつや礼儀正しさ、正しい言葉遣いにこだわるとともに、子どもたちが実践できるように働きかけている。	4.1
10	委員会活動や児童集会で創造的な活動を展開し、楽しくよりよい生活を創り出せるよう努めている。	3.9
11	ふるさとの良さを発見する学習を推進すると共に、体験活動を重視し、子どもの視野を広げるように努めている。	3.7

☆　本年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、人と人とのつながりを大切にしたふるさとの良さを味わえる学習や体験活動を十分に行うことができず残念である。ふるさと学習や体験活動に工夫が求められる。

	評価の観点（Ⅳ．健やかな身体）	平均
12	歯科衛生、生活習慣づくりについて、計画的に取り組み、健康の増進を図る指導に努めている。	3.8
13	進んで運動ができる子を育てるために、体育の授業やすこやかタイム、昼休みにおける運動や遊びを工夫する力をつけるように努めている。	3.8
14	命を大切にする意識を高めるための安全教育や防災教育を推進している。	4.1
15	自分の生活を見つめ、生活習慣を整える指導に努めている。	3.8

☆　引き続き、健康増進や危険回避の重要性を認識できるように日々の生活の中で指導していきたいと考える。

	評価の観点（Ⅴ．その他）	平均
16	「学校だより」「学級通信」「ＨＰ」によって、学校、学級の様子をわかりやすく伝えている。	4.2
17	問題行動や心配な言動、体調不良等の児童、または継続的にケアが必要と思われる児童保護者と連絡を取り、保護者との綿密な連携の元指導を行うよう努めた。	4.3
18	生活科・総合的な学習の時間やふるさと活動等での地域の人材（学習活動支援者・ゲストティチャー）を効果的に活用し授業を仕組むよう努めた。	3.8
19	個別に支援を要する子に対して、その子に応じた教育を適切に行っている。	3.9
20	東白川小学校の教職員は、児童に寄り添った教育に心がけ、教師の力量を高める研修に取り組んでいる。	3.8

☆　「学校だより」やＨＰを活用して、保護者や地域の方に学校の様子や児童の様子を伝えるように努めている。地域の方も協力的で、いろいろな面で助けていただけるので本当にありがたい。